

申請事業計画書（自立促進事業補助金）

記入例

事業名	83 運動を広めよう事業	← 予算書と同じ事業名、団体名を記入 ↓ 予算書と同額を記入	
団体名	うらやす防犯活動広げ隊		
事業費総額	65,060 円	補助申請総額	44,060 円

① 解決あるいは改善したい団体の課題

近年、子どもを標的とした犯罪や登下校時の交通事故が全国的に増加しており、市内〇〇地域においても、最近、子どもが被害にあうケースがあったことから、保護者を中心に地域の中で、子どもの安全に対する不安が広がっている。

このような状況の中、当団体では子どもの登下校時に見守り活動を行っているが、当団体の認知度が低く、いまだ協力者は少ない状況である。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。

○ 解決又は改善したい団体の課題 ○ 課題に関する市民ニーズの状況

② 事業の概要 ※3 行程度で簡潔に書いてください。

上記①に示された課題の解決あるいは改善に向けてどのような事業を行いますか。

認知度の向上のため、地域住民が行う防犯活動として、午前8時と午後3時に登下校時の子どもたちの見守り運動を実施し、地域に団体と活動を広める。また、チラシやポスターを作成やセミナー・ワークショップを開催し活動への協力を地域に促す。

③ 事業の内容

内容：

（1）見守り活動

午前8時と午後3時の子どもたちの登下校の時間帯に合わせて、〇〇地域における83運動として、生活の一環の中で、子どもたちを見守る活動を、当会の会員を中心とした地域住民が行う。

（2）見守り活動の普及・啓発等

活動を立ち上げ、軌道に乗せ、地域内に広げていくために下記の活動を行う。

① 活動に関するチラシ、ポスターの作成と〇〇地域の小・中学校、PTA、自治会等への協力のお願いとチラシの配布

② 地域住民を対象とした防犯セミナー・ワークショップの開催：セミナーの講師は子どもの防犯を地域で推進することに詳しい専門家をお願いし、ワークショップは地域住民が意見交換をし、今後の連携や活動につなげるとともに、活動を支えるボランティアスタッフの増加につなげる。

③ 地域の小・中学校における夏季・冬季休暇前の子ども向けの防犯ミニ教室の開催

④ 各自治会等の夏祭りや地域のイベント等、市民活動フェスティバルに参加し、活動のPRを行う

（3）振り返り

活動を通して出る課題・効果等を検証し、今後の活動の継続と発展につなげる。

下記のような項目について明確かつ簡潔に記入してください。

いつ、どこで、誰が、誰を対象に、何を、どのように

【事業の参考例】

- ・ チラシ・リーフレット作成による広報力アップ事業
- ・ イベントの開催による、団体の認知度向上や担い手確保に向けた事業
- ・ 学習会などによる担い手の育成事業
- ・ 自治会や他団体との連携強化による組織基盤強化事業

など

④事業のスケジュール

③の計画内容を下のスケジュール表になるべく詳細に記入してください。

なお、下表の『場所や人数など』欄に参加予定人数やスタッフ人数を記入してください。

時期	内容	場所や人数など
4月	<ul style="list-style-type: none"> 地域の小中学校・PTA・自治会向けの啓発チラシの掲載内容とデザインを団体内で検討する 地域の小中学校・PTA・自治会等向けの啓発チラシの印刷 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館/スタッフ5名 公民館/スタッフ2名
5月	<ul style="list-style-type: none"> 上記関係機関・団体へのチラシの配布と依頼 ボランティアスタッフ、協力者、参加者の増加状況を踏まえて、見守り活動やその他事業の詳細（活動日時・主になるスタッフ・協力者等）を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関/団体スタッフ5名 公民館/スタッフ5名、参加機関団体10名
6月	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動を6月から本格スタート 第1回防犯セミナー・ワークショップ開催に向けた打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路等/スタッフ10名、PTA10名、自治会5名 市民活動センター/スタッフ10名
7月	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会等の夏祭りや地域のイベント等での活動に関する啓発 夏季休暇前の子ども向けの防犯ミニ教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 各会場/スタッフ10名、参加機関団体20名 各小中学校/スタッフ10名、参加機関団体20名
8月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回防犯セミナー・ワークショップの開催(講師1名・運営スタッフ等) ※防犯に関する知識を深めるとともに地域の課題を話し合う。 夏季休暇中のPTAのパトロールと合わせ見守り活動強化 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館/スタッフ10名、参加機関団体20名、一般70名 通学路等/スタッフ10名、PTA10名、自治会5名
9月	<ul style="list-style-type: none"> ここまでの半年の活動の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センター/スタッフ10名
10月	<ul style="list-style-type: none"> 半年の活動実績を生かす内容でポスターを作成し、自治会等の掲示板に貼るなどしてPRを強化 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館/スタッフ5名 自治会掲示板/スタッフ5名、自治会5名
11月	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動フェスティバルに参加し、活動の周知を行う 第2回防犯セミナー・ワークショップ開催に向けた打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> 会場/スタッフ8名 公民館/スタッフ10名
12月	<ul style="list-style-type: none"> 12月になると犯罪が増加する傾向にあるので、見守りを強化する 冬季休暇前の子ども向けの防犯ミニ教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路等/スタッフ10名、PTA10名、自治会5名 各小中学校/スタッフ10名、参加機関団体20名
1月	<ul style="list-style-type: none"> 冬季休暇中のPTAのパトロールと合わせ見守り活動強化 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路等/スタッフ10名、PTA15名、自治会10名
2月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回防犯セミナー・ワークショップの開催(講師1名・運営スタッフ等) ※防犯に関する知識を深めるとともに地域の課題を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館/スタッフ10名、参加機関団体20名、一般90名
3月	<ul style="list-style-type: none"> 1年のふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館/スタッフ10名、参加機関団体10名

⑤事業の効果

この事業を行うことにより、団体の課題の解決又は改善に向けてどのように進むと考えますか。

- ・防犯活動に関するチラシ、ポスターを〇〇地域の小・中学校、PTA、自治会等へ配布することで当団体の活動内容を知ってもらえ、団体の認知度が向上すると考える。
- ・地域住民を対象とした防犯セミナー・ワークショップを開催することで、地域住民の防犯意識の醸成や、見守り活動への協力者の増加が見込めると考える。
- ・各自治会等の夏祭りや地域のイベント等、市民活動フェスティバルに参加することにより、〇〇地域以外の他地域の方にも活動を知ってもらえる機会になると考える。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。

○②に記入した団体の課題に対して、この事業がどのような効果があるのか

⑥団体が自立した運営を継続していくため、この事業を行うことで、どのような効果を得ることができそうですか。

(下記項目にチェックしてください。) ※複数チェックした場合、一項目ずつ記入してください。

- 自主財源の確保 担い手の確保 担い手の育成 認知度の向上
 他団体との連携強化 まちづくり活動補助金事業への移行 その他

(上記チェックの内容について、具体的に記載してください。)

- ・地域住民を対象とした防犯セミナー・ワークショップを開催することで、地域住民の防犯意識の醸成や見守り活動への協力者、参加者の増加が見込め、今後の活動継続に向けて担い手の確保ができると考える。
- ・防犯セミナーでは、子どもの防犯を地域で推進することに詳しい専門家に講師をお願いをしようと考えているので、団体メンバーにとっても正しい知識を学ぶことができ、メンバーのスキルアップの場にもなると考える。
- ・防犯活動に関するチラシ、ポスターを作成し〇〇地域の小・中学校、PTA、自治会等へ配布することによって活動への認知度を高めることができる。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。

○団体の将来像など、今後、どのような運営体制になるか

⑦次年度以降、この事業をどのように自立・継続・発展させていきますか。

(下記項目にチェックしてください。)

- 自立予定(自主財源で継続) 市民活動補助金を再度申請予定
 他の制度を使用して継続予定 実施年度で終了予定 その他

(上記チェックの内容について、具体的に記載してください。)

- ・地域内における見守り活動の継続・発展を図るとともに、将来的には市内におけるモデル事例として他地域に周知を図り、他地域にもこの活動を広げていきたい。
- ・防犯セミナー・ワークショップの開催を年2回から、年4回に増やし、地域住民が地域の安全について自由に話せる「場」を作っていきたいと考えている。
- ・当団体の活動がより地域に根付いた活動になるよう、地域住民との交流を大事にしていきたい。見守り活動や地域住民を対象とした防犯セミナー・ワークショップの開催だけでなく、自治会が主催している、防災訓練等にも参加し、安全なまちづくりのためにさらなる連携を図っていきたい。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。

○申請する事業の今後の方向性